

# 東松島市医師団リレートーク 第11回

～医療現場のドクターからのメッセージ～



今回の医師団リレートークは、かしわや内科クリニック柏谷 充院長から「ここ30年の医療の変化」と題して寄稿いただきました。柏谷院長の視点で綴られた医療や技術面における進歩は、非常に興味深い内容となっています。

1 インフルエンザの診断と治療  
 いまだに年間千人前後の死者が出る恐ろしいインフルエンザ感染症ですが、30年前は今のよう迅速に診断可能なキットは無く、または治療薬も存在しませんでした。ですから冬に高熱が出て、インフルエンザが疑われても、ただ頭を冷やして寝込む以外に術は無かったのです。それが今では5分位でインフルエンザの診断が可能になり、診断後は速やかに治療薬を服用すれば2～3日で症状が軽快する時代になりました。

2 MRI  
 30年前、母校である岩手医大にはMRI装置が無く、検査が必要な時は近くの脳外科クリニックまで患者さんを紹介していたものです(開業医にはMRIがあるのに大学病院には無いというの理不尽さよ)。ところが今では石巻管内だけでも10台以上、いやいやMRIの保有数は日本が世界一になっていました。驚きです。

3 胃カメラ  
 医師になりたての頃、その大きさに圧倒され全く挿入することができなかった胃カメラも、今や先端部が5ミリ以下となり、小生でも挿入することが可能になりました。こんなに細くなったのだからさぞかし検査も楽になっただろうと、先日、

胃カメラの検査を受けてみたところ、とても苦しい思いをしました。当たり前ですが、かなりのテクニックを要する手技であることを思い知らされました。

4 脱腸手術  
 脱腸は放置したままだと腸閉塞を引き起こす怖い病気です。昔ながら2週間は入院を要しましたが、今や日帰り手術が受けられる時代となりました。

5 タバコ  
 タバコに関しては大きな変化が見られます。30年前は分煙という意識がまるで無くタバコは吸いたい放題でした。医局で談笑しながら一服、会議をしながら一服、さらに外来で診察をしながら一服と、現在からは考えられない光景が広がっていました。今はどうでしょう？医療機関の大半は敷地内禁煙、公共施設もほとんどが禁煙。禁煙補助薬まで登場し、喫煙者はかなり減ったようです。もしかすると20～30年後には肺がん、閉塞性肺疾患が劇的に減っているかもしれません。

## 【質問受付欄】

本コーナーでは、皆さんの知りたい医療に関する情報を募集します。例えば、血圧が高いと健康によくない理由を教えてくださいなど、関心のある分野で結構です。いただいた質問は、専門の先生が登場する回に紙面で紹介し、回答します。「健康基礎クイズ」の答えと先生への質問を記入のうえ、はがき、ファックス、電子メールにて下記までお願いします。

■住所 東松島市矢本字上河戸36-1 東松島市保健福祉部健康推進課宛  
 ☎ 0225-82-1244 ✉ kenko@city.higashimatsushima.miyagi.jp

■問 健康推進課健康支援班 ☎内線3101



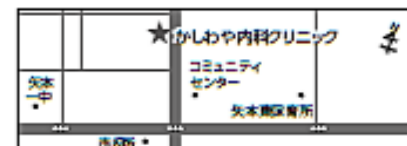
かしわや内科クリニック

かしわや みつる  
**柏谷 充院長**

■診療科 内科

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○
14:00～17:45	○	○	○	○	○	△

休診日 日曜・祭日 第3土曜



東松島市小松若葉7-10



柏谷先生からの  
 健康基礎クイズ

(○または×で回答)

1. 30年前はインフルエンザ治療薬は無かった。
2. MRI保有台数は日本はあまり多くない。
3. 脱腸手術は日帰りも可能となった。

正解者には抽選で地図と利用券3枚セットを3人の方にプレゼントします。応募方法については質問受付欄(左記)を参照いただき「健康基礎クイズプレゼント保」(2月15日号分)と明記ください。応募締め切りは、3月2日(金)の消印有効です。

渡辺先生からの健康基礎クイズの正解は

1. ギックリ腰は運動不足が原因なので動いた方が良い→×
  2. 腰椎間板ヘルニアは手術しないと治らない→×
  3. 腰部脊柱管狭窄症は若年者に多い→×
- 正解者の中から、児嶋妙子さん(西福田)、松浦奈々子さん(新東名)、山崎あさひさん(赤井)の3人にゆづと利用券3枚セットを郵送にてプレゼントします。